

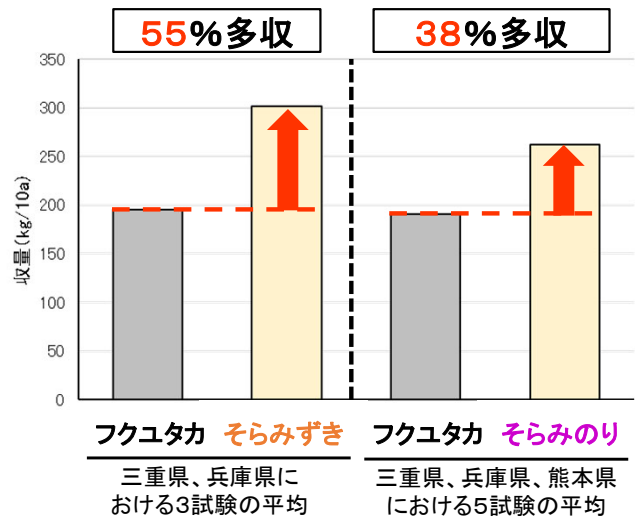
多収大豆品種「そらみずき」「そらみのり」を開発 — 国産大豆の安定供給や自給率向上に貢献 —

- 既存品種に比べて3割以上多収の大豆「そらみずき」、「そらみのり」を開発。
- 莢がはじけにくいいため、コンバイン収穫でも収穫ロスが少ない。
- 「そらひびき」「そらたかく」(2024年品種登録出願)をあわせた多収大豆の4つの品種「そらシリーズ」で東北南部～九州での栽培をカバー。

研究機関：農研機構



フクユタカ そらみずき フクユタカ そらみのり
「そらみずき」「そらみのり」の草姿



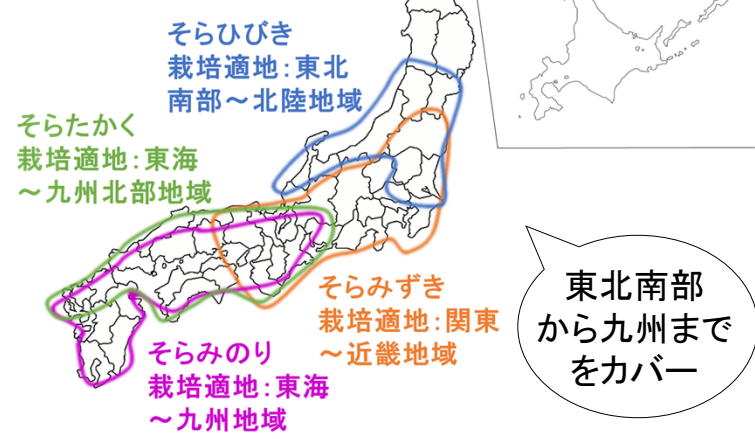
「そらみずき」「そらみのり」の生産者
ほ場における現地実証試験での平均収量

2023年に「そらみずき」、「そらみのり」
2024年に「そらたかく」、「そらひびき」
4つの多収大豆「そらシリーズ」
を品種登録出願



10県以上での奨励品種決定試験と
普及に向けた現地試験を全国で実施
東北北部にも適した多収品種の開発
にも取り組んでいます!!

「そらシリーズ」の栽培適地



東北南部から九州までをカバー

導入により期待される効果

多収大豆の「そらシリーズ」を多くの大豆産地に普及させることにより、大豆収量を向上させ、国産大豆の安定供給や自給率向上に貢献。